

親子で料理に挑戦!

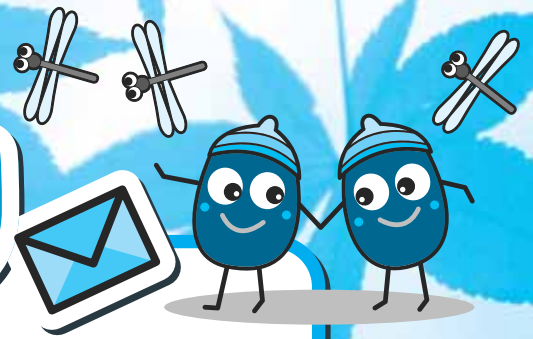


主な内容

- 国保だより 2~3
- 思いやる心が育てる明るい社会 4
- 秋の行政相談週間 6

8月6日・7日、壬生小学校の2・5年生の親子を対象に、夏休み「朝食を題材とした家庭料理教室」が行われ、トマト・かぼちゃ・かんぴょう・にら・ごぼうといった壬生町の地場農産物を使った朝食メニューに挑戦しました。
(関連記事 8頁)

国保だより



『国民健康保険被保険者証』の更新は
10月1日です

カード型の被保険者証が1人に1枚交付されます。

カード見本

国民健康保険 有効期限 平成21年 9月30日
被保険者証
記号 100 番号 123456
氏名 コクホ タロウ
国保 太郎
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 性別 男
資格取得(該当)年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日
交付年月日 平成20年10月1日
世帯主氏名 国保 太郎
住所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
保険者番号 090000
保険者名 〇〇〇

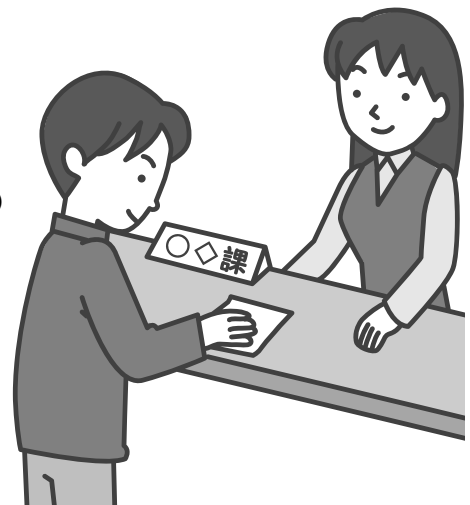
保険者印
縦12mm以内
横12mm以内

一部負担金の割合 裏面参照

国民健康保険被保険者証は、毎年10月1日に更新されます。本年も9月25日頃、郵送での送付を予定しております。到着までに数日を要すると思われるかもしれませんが、9月30日になっても届かない場合は、保険環境課 国保医療係 (☎81-1836) にお問い合わせください。

現在お持ちの被保険者証は、9月30日で期限切れとなりますので、ご注意ください。

なお、10月1日以降になりましたら、役場保険環境課か町民生活課または稲葉・南犬飼出張所へ返還してください。



国民健康保険税の特別徴収(年金天引き)が、10月からはじまります。

10月から年金天引きが始まる方は、下記の と の条件の両方に該当した方を対象としており、8月25日に「平成20年度 国民健康保険税特別徴収税額の通知書」を送付いたしました。

平成20年6月30日現在、下記に該当する方。
世帯主の方が、国民健康保険に加入している
国民健康保険加入者全員が、65歳以上である

世帯主の方の、10月の受給年金から、介護保険料が天引きになっていること。かつ、下の図のように、10月に天引きになる介護保険料と国民健康保険税の合計額が、年金受給額の半分を超えないこと。



20年10月天引き額

国民健康保険税
+
介護保険料



年金1回あたりの
受給金額 $\times \frac{1}{2}$

4月からすでに年金天引きが始まっている方は、平成20年度国民健康保険税の確定年税額から、8月までに天引きした税額を引き、残りの税額を、10月、12月および翌年の2月の年金から均等に天引きになるように調整いたします。

国民健康保険税のお支払い方法の変更について

現在、国民健康保険税を年金天引きで納めていただいている方や、10月の年金から天引きにより納めていただく予定の方のうち、下記の と の条件の両方を満たす方は、年金天引きから口座振替へ、納付方法を変更することができます。

- これまで、保険税を滞納することなく納めていただいていた方
- これからの保険税を、口座振替により納めていただける方



年金天引きから口座振替へ、納付方法の変更を希望される方は、国民健康保険税納付方法変更申出書」に必要事項をご記入の上、税務課までご提出ください。

なお、提出される時期により、口座振替が開始される時期は変わります。
(現在、国民健康保険税の口座振替をご利用されていない方は、「口座振替依頼書」も、併せてご提出ください。)

思いやる心が育てる明るい社会

壬生町保護司会・壬生町更生保護女性会



ふれあいプールでの街頭広報活動

壬 生町保護司会（会長 橋本木三郎と壬生町更生保護女性会（会長 大島美智子）では、毎年7月の「社会を明るくする運動」強調月間（主唱：法務省）に様々な広報活動を展開しています。

強 調月間直前の6月30日には、町保護司会の会長と副会長が町長室を訪れ、法務大臣からの本年の重点目標「犯罪・非行の防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める」等が書かれた「第58回 社会を明るくする運動に当たって」のメッセージを伝達いたしました。

今 年は、特別事業で横断幕を作成し、

毎年の強調月間に

合わせ各小中学校、壬生高、役場へ掲示することにより児童生徒や住民の方々へ広くPRしよう、町保護司会の活動費の一部を約15年間積立したものと更生保護女性会よりの拠出金により全額賄い、「思いやる心が育てる明るい社会」などの標語が書かれた横断幕を会員や学校の先生たちによりフェンスや校舎等に設置しました。

ま た、強調月間には保護司会・更生保護女性会の会員が各小中学校への訪問活動を行うほか、町内のスーパーマーケットやふれあいプールで街頭広報活動を行い、「社会を明るくする運動」をPRするためのチラシに更生保護女性会会員の手作りによる「社明人形しおり」を添えて訪れた方々へ配布しました。



橋本会長・小倉副会長より町長へのメッセージ伝達



睦小



壬生小

開かれた町政を目指して



平成19年度壬生町個人情報保護 条例の運用状況について

平成19年度の個人情報保護条例の運用状況をお知らせします。

平成19年度末現在の取扱事務登録件数は616件となっています。個人情報開示等の請求はありませんでした。

個人情報開示等の請求件数	0件
個人情報開示等請求の決定件数	0件
不服申立ての件数	0件

壬生町個人情報保護条例とは？

個人情報の取扱いに関して、個人の権利利益の侵害を防止し、町の個人情報の保護施策の基本的事項を明確にして、個人の基本的な人権を擁護することを目的としています。

「情報公開制度」に関するお問い合わせは

町総務部総務課文書法規係 ☎81-1807

平成19年度情報公開制度 利用状況

平成19年度の情報公開制度の利用状況についてお知らせします。

情報公開制度とは、町民の皆さんの町政に対する理解・信頼を深め、「よ開かれた町政」の実現のため、町の持っている情報を公開する制度です。平成19年度の公開請求は次のとおりでした。

No.	項目	件数	
1	請求件数	13件	
2	実施機関別内訳	町長	10件
		教育委員会	1件
		議会	1件
		農業委員会	1件
3	決定内容別内訳	公開	9件
		部分公開	3件
		非公開	2件
		不存在	6件
4	不服申立	0件	

請求件数は、請求書が提出された数で、請求項目がそれぞれ異なるため、決定内容別内訳の件数の合計とは異なっています。

見えてくる
日本の暮らし
住まいから



10月1日

平成20年

住宅・土地統計調査

現在、5年に一度の「住宅・土地統計調査」が行われております。調査の対象となったお宅に、調査員がおうかがいいたしますので、ご協力をお願いいたします。

調査票の取集期間

10月1日～10月7日

総務省統計局
栃木県・壬生町

国の仕事のことなどで困ったときは、
行政相談委員にご相談ください

秋の行政相談週間 10月20日～26日

行政に対する苦情などを
お聞きします

総務省では、全国に行政相談の
ための窓口を設置し、皆さん
からの行政に対する苦情や意見・
要望を受け付け、公正で中立な
立場から必要なあつせんを行う
などとしてその解決を促進する
とともに、行政運営の改善などを
図っています。

行政相談週間は、毎年5月と
10月の2回行われており、今
年の「秋の行政相談週間」は、
10月20日～26日まで実施され
ます。

行政相談の内容は？

役所の仕事、国の仕事、独立行
政法人・特殊法人等の仕事、都道
府県・市区町村の仕事で、法定受
託事務に該当するもの・国の委
任又は補助を受けて行っている
仕事)についてご相談ください。
年金、医療保険、老人保健・
福祉、交通安全、消費者保護な

相談はどこ？

行政相談の窓口は、総務大臣
から委嘱を受けた行政相談委員
です。本町でも左記のとおり特
設行政相談所を開設します。

また、行政相談委員は、月1
回定期的に相談をお受けするほ
か、電話でも相談に応じていま
すのでお気軽にご相談ください。
相談は無料で、秘密は固く守
られます。

特設行政相談

日時 10月23日(木)
午後1時30分～4時

場所 保健福祉センター

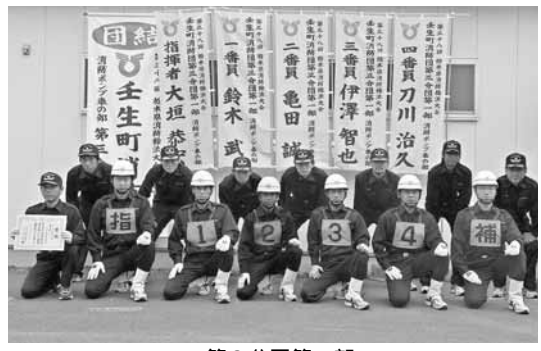
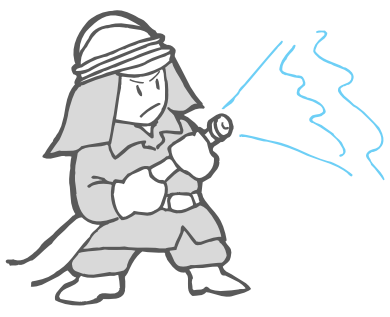
相談担当者
大森 忠 行政相談委員
渡邊容子 行政相談委員

問合せ先
町総務部企画財政課
情報広報係 ☎
8216613

第38回 栃木県消防操法大会開催

7月26日、栃木県消防学
校において第38回栃木県消
防操法大会が開催され、小型
ポンプ操法の部に壬生町消防
団第1分団第5部が、自動車
ポンプ操法の部に壬生町消防
団第3分団第1部が、栃木県
消防協会下都賀支部代表とし
て出場しました。

炎天下のもと、この日のた
めに訓練を重ねてきた栃木県
下の消防団員と操法技術を競
い合い、壬生町消防団は、第
1分団第5部、第3分団第1
部共に前回、前々回の順位を
上回る第4位となりました。



第3分団第一部



第一分団第5部



まちのわだい



交通安全子供自転車栃木県大会 2年連続第3位！陸小学校



左から荒川さん、篠原さん、萩尾さん、小林さん

7月4日、鹿沼市総合体育館フォレストアリーナにて、県内20地区から選ばれた23チームが競う、第42回交通安全子供自転車栃木県大会に陸小学校がシード校として出場しました。

大会独特の緊迫した雰囲気の中、選手たち（荒川さゆりさん・萩尾亮太さん・篠原朱音さん・小林旺太郎さん）は大きなプレッシャーにも負けず、堂々と筆記試験、安全走行、技能走行に挑みました。結果は見事第3位になり、昨年同様シード校として来年の県大会出場が決定しました。

また、個人の部でも、小林さん、荒川さんがそれぞれ優勝、第9位と、朝、昼、放課後、休日と練習に励んだ選手の頑張りと多くの方々の応援が実り、素晴らしい結果を残すことができました。

関東大会・全国大会出場者を激励

8月5日、県大会を勝ち抜き関東大会・全国大会に出場を決めた壬生中・南犬飼中の生徒が、出場の報告に町長室を訪問し、副町長から激励の言葉を受けました。

全国大会出場者(敬称略)

壬生中陸上部 高岩 将太 (男子200m走)

関東大会出場者(敬称略)

壬生中陸上部 高岩 将太 (男子200m走)

壬生中剣道部 海老沼慶太、篠原 崇宏、山口 容生、大塚 信裕、野村 竜生、上ノ園 一真

壬生中水泳部 佐藤 匠 (男子団体)

..... 谷黒 瑞希 (女子背泳ぎ100m・200m)

..... 野代加奈子 (女子平泳ぎ100m・200m)

..... 谷黒 杏花 (女子背泳ぎ100m)

..... (個人メドレー200m)

南犬飼中水泳部 石原 嵩志 (男子400mフリーリレー)

..... (自由形50m・100m)

..... 中川 裕史 (男子400mフリーリレー)

..... (自由形200m・バタフライ100m)

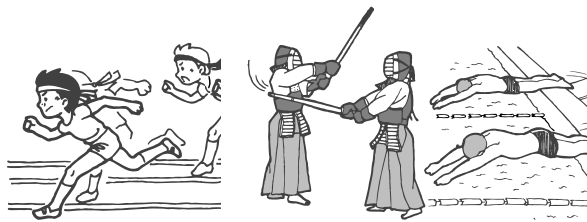
..... 高橋 将輝 (男子400mフリーリレー)

..... (バタフライ200m)

..... 南 晴貴 (男子400mフリーリレー)

..... 松本 茉那 (女子平泳ぎ100m・200m)

..... 畑中 真希 (女子背泳ぎ100m・200m)



礼儀作法を学ぶ 藤井小放課後子ども教室



8月18日、藤井小学校で4年生から6年生までの児童16名が参加して、藤井小放課後子ども教室「浴衣の着装と礼法子ども教室」が行われました。

この日は、講師に早川愛子先生、倉持啓子先生、滝元美代子先生の三名を招いて、第七教程「礼法 お茶を楽しもう」礼儀作法についての教室が開かれました。

児童たちはまず最初に、浴衣の着装を行ってから畳の上で正座をして、懐紙の折り方、茶托の運びの動き、蓋付茶わんの蓋の開け方、黒文字を使ってのお菓子のいただき方を二時間にわたり学び、長い歴史と伝統の中から生まれた文化へ理解を深めました。

浴衣に着替えての礼法教室は、児童たちにとって日常生活と違った意識で日本古来の文化に触れる新鮮な一日となりました。

園児と老人介護施設入居者がカブトムシで交流 メリーランド保育園



カブトムシを捕まえたよ

7月24日、(社)木の木会が運営するしもつけ荘など3つの老人介護施設の入居者の方たちとメリーランド保育園の園児たちが、施設に隣接する雑木林でカブトムシを捕える交流会を開催しました。

この雑木林には、5月中旬に町内の昆虫愛好家の団体である壬生ファール会(代表 大島菊夫氏)と介護施設入居者、園児たちがカブトムシの幼虫を放しており、メリーランドの園児たち120人としもつけ荘、みなと荘、うららの入居者の方たち40人が見守る中、その時のカブトムシが成虫となって飛び出してきました。

壬生ファール会から、カブトムシは夜行性のため直射日光が嫌いで、このような林の中が大好きであることの説明を受けた後、オガクズとゼリーの入った虫かごを渡された園児たちは、歓声を上げてカブトムシを追いかけました。

園児たちは入居者の方たちに「こんな大きなカブトムシを捕まえたよ」「こんな色をしているんだよ」と話しかけ一緒に微笑んでいました。

壬生小学校 夏休み家族料理教室

8月6日・7日、壬生小学校の2・5年生を対象に、夏休み「朝食を題材とした家庭料理教室」が行われました。

これは、壬生小学校家族料理教室実行委員会(委員長:稲見均壬生小学校校長)が県教育委員会事務局健康福祉課と連携して開催したもので、6日は壬生小学校栄養教諭の大島昌枝先生を講師として、2年生の親子16組がトマト、かぼちゃ、かんぴょう、にら・ごぼうといった壬生町の地場農産物を使った朝食メニューに挑戦しました。

大島先生の朝食と栄養に関する講話と今回作る2種類のメニュー(Aメニュー:トマトと卵のスープ・かぼちゃのサラダ、Bメニュー:野菜いっぱいオムレツ・かぼちゃのミルクスープ)のデモンストレーションの後、それぞれメニューごとにわかれて実習に入りました。子どもたちは、なれない料理に悪戦苦闘していましたが、お母さんの助けもあり、無事完成させることができ、実習の後は、みんなで一緒に自分たちで作った料理を食べて、子どもたちは大喜びの様子で、「家でも作ってみたい」という子もいました。



真剣な眼差しでトマトを切る児童

清流で川遊び体験 生涯学習館親子ふれあい教室



8月9日、生涯学習館の親子ふれあい教室で、鹿沼市大芦川の上流部において「清流での川遊び体験」が行われました。

小学生以下の親子10組30人は、町のバスに乗って古峰ヶ原街道の一の大鳥居手前の河原にやってきました。県内でも有数の清流といわれる大芦川上流は、大きな岩の間を澄んだ冷たい水が流れ、水中メガネで中を覗くとイワナがすぐ目の前を横切るような所です。

水着に着替えた子どもたちは、とちぎ自然塾(関谷忠一塾長)のスタッフによるサポートで浮き輪川下りや、アユのつかみ取りや河原の石を使った工作教室をたっぷり楽しみました。

昼には炭火で焼いたアユの塩焼きや自然塾のスタッフが釣り上げたイワナをその場で唐揚げにして食べ、最後にスイカ割りをしました。

川遊びしている川面には、見たこともないような大きなトンボやアゲハチョウが飛び交い、子どもたちにとって本物の川遊び体験は、夏休みの貴重な思い出となりました。



スイカ割りに挑戦

万町で夕顔夜市

8月2日の夜、大師町地内の空き地において、「夕顔夜市」が開催されました。

このお祭りは、万町おかざり会（商店会）主催の自治会後援で、初めて開催されたものです。会場敷地の奥の畑では、地を張って伸びていく夕顔がひょうたんのように立体的に棚に茎を伸ばし、10キロ以上もある夕顔の実がいくつも宙づりとなって人目を引いていました。その棚やステージ、会場のあちこちに孟宗竹を加工したろうそくを立てる燭台があり、すっかり日が落ちてから参加者が手分けで会場の80本のろうそくに火を灯していきました。

その後ステージではシンセサイザー、マリimbaによるコンサートや金魚すくい大会やスイカ割りチャレンジ、お宝まきがおこなわれ、小さな子どもを連れて訪れた家族連れは楽しい演出に時間を忘れて楽しんでいました。

地元の人はもちろん、近隣の家族連れも多数会場に訪れ、数十年も前の夏の夜祭りにタイムスリップしたような賑わいの中、夏の夜のひとときを過ごしました。

黒川で水棲昆虫を採取して水質調査

8月21日、しのもめ公園付近を流れる黒川において、「黒川にサケを呼び戻す会」による水棲昆虫採取が行われ、町内のありんこ、壬生寺、メリーランド、さくらんぼの4つの保育園と六美南部育成会の児童107名が参加しました。

この活動は、近年、黒川の水質の汚れが指摘される中で、次代を担う子どもたちの環境教育の一環として、水棲昆虫を採取し、採取した昆虫によって水質を調査するというもので、今年で5回目になります。

栃木農業高校教諭で生物担任の一杉周平先生が指導に当たりましたが、この日は突然の雷雨に見舞われ、しのもめ橋の下に移動し、採取した水棲昆虫を材料にした一杉先生の説明に子どもたちは次々と質問をしていました。

調査の結果は、ヒラタカゲロウやトビケラ（きれいな川と少し汚れた川に棲む昆虫）、ヒラタドロムシ（少し汚れた川に棲む昆虫）などが採取され、総じて「少し汚れた川」という結論が出されました。調査終了後、子どもたちは川原の空き缶やゴミを拾って園にもどりました。



岩の裏に張り付いた虫を調べる子どもたち

夏の交流会 夢くらぶむつみと育成会・のぞみホーム



8月23日、NPO「夢くらぶ むつみ」恒例の地元育成会の親子やのぞみホームの入居者の方を招いての夏のおもしろ交流会がおこなわれました。

育成会の親子を対象に石や紙を使っての工作教室が開かれ、黒川の川原から集めてきた手頃な石に着色したり、シールを貼って動物や乗り物を作成し、その後は、メンバーが朝早く切り倒した孟宗竹に丸カンナをかけて節を取り除き、手作りの流しそうめんが行われ、子どもたちとお年寄りも、流れてきた冷たい流しそうめんを舌鼓を打ちました。

夏休み終盤のこの時期の定番となったこの交流会、子どもからお年寄りまで大勢の人が参加して、かき氷、バーベキュー、手作り料理、バンド演奏など多彩な催しに、夏休みの充実した一日を過ごしました。

猛暑にも負けなかった夏まつり 第36回睦地区夏祭



8月3日、おもちゃのまち駅西口広場において睦地区コミュニティ推進協議会による「ふれあいと思いやり」をテーマにした第36回夏祭が開催されました。

会場には、「地域の絆を大切に」「世界が平和でありますように」等素晴らしい七夕飾りをはじめ、緑友会の会員による手話入りの「翼を下さい」のコーラス、また子どもたちが作成したポスター、手作り神輿等が披露され、テーマどおり睦地区会員皆さんのふれあいと思いやりを感じる祭となりました。

コスモスの種まき 稲葉保育園・メリーランド保育園

8月6日、秋に下稲葉コスモス街道花まつりの会場となる休耕田に、稲葉保育園とメリーランド保育園の園児たちがコスモスの種まきを行いました。

これは、毎年下稲葉コスモス街道花まつり実行委員会（会長 田辺正さん）が、両保育園の園児を招待して一緒に種まきを行っているものです。今年は学童保育の児童を含めた子どもたち130人と実行委員会のメンバーが30aの畑の端から一列になって種を蒔いていきました。

10月に開催される花まつりには、子どもたちが蒔いたコスモスも色とりどりの花を咲かせて、訪れる人たちの目を楽しませてくれることでしょう。



休耕田にコスモスの種をまく園児たち

慰霊碑参拝 ～ 終戦記念日を迎えて～



8月15日の『戦没者を追悼し平和を祈念する日』には、日本武道館において開催される全国戦没者追悼式をはじめ、全国各地で追悼・平和祈願が行われています。この日、壬生町の慰霊碑にも、朝早くから遺族の方々が参拝に訪れていました。

当日は35度を越す猛暑日でしたが、正午には戦没者のために慰霊碑に向かい黙祷を行いました。戦争で亡くなられた家族を偲び、冥福を祈るとともに戦争のない平和な世界を願いながら慰霊碑を後にしました。

特別敬老金 宇井俊一さん「100歳」おめでとう

8月22日、満100歳を迎えられた宇井俊一さんに特別敬老金を贈り、長寿を祝いました。

「あと、5年は、生きたい。」とにこにこ話す宇井俊一さんの健康の秘訣は「なるべく大きな声で話すこと」「本を読むこと」だそうです。話題が豊富で町長と話がはずんだ宇井さんは、とても100歳とは思えないほど元気一杯でした。これからも、明るくいつまでも長生きしてほしいと心から願っております。

この制度は、平成4年4月から実施しており、10年以上本町に暮らし、100歳を迎えた方の長寿を祝い、敬老金を贈っているものです。



みんなの広場



海老沼日向ちゃん
(H14.9.25生)
葵ちゃん
(H18.9.4生)
(前宿坪)



糸川紗也華ちゃん・奈菜江ちゃん
(H17.5.28生) (H19.7.22生)
明日奈ちゃん
(H14.9.13生)
(至宝町南)



榎木瑠南ちゃん
(H19.9.14生)
(松原)

今回は11月生まれのアイドルを募集します。(締切10月20日)写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で〒321-0292 壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

Eメールの場合は上記必要事項を記入し、企画財政課情報広報係宛 (info@town.mibu.tochigi.jp) へメールしてください。



松川賢斗ちゃん
(H19.9.14生)
(おもちゃのまち)



佐藤佑亮ちゃん
(H19.9.17生)
(安塚三)



小谷野瑤聖ちゃん・耀太ちゃん
(H15.12.24生) (H18.9.26生)
(台坪)

イギリス人医師ジェンナーが天然痘の予防方法として種痘法を發明してから47年後の嘉永2年(1849)7月、オランダ人医師モーンツケが長崎に持参した痘癩(種痘者のかさぶた)によって種痘は成功しました。壬生藩医齋藤玄昌も一刻も早く痘苗を入手したいと願った一人でした。玄昌は牛種痘(牛から取ったワクチン)の取り寄せを藩主鳥居忠挙に進言し、同年末には伝えられた形跡があります。それを藩主の嫡子に接種し、藩に活着することになりました。藩では翌3年2月、洩れなく接種させるため藩権力により強制的措置がとられ、領内全般に種痘が実施される体制ができました。壬生藩の試みは全国でもきわめて早い事例といってもいいでしょう。

第三章 齋藤玄昌と種痘の普及 1. 壬生藩の種痘

歴史民俗資料館だよりの シリーズⅣ 〈医療の歴史〉にみる壬生



〈壬生藩実施御触書「御用留」〉

嘉永3年(1850)から文久元年(1861)の「御用留」から、壬生藩の種痘行政が長州、肥前及び福井藩などと並び、不朽の業績をあげたことを示す資料である。また天然痘に罹患していない子どもへの牛種痘を命じ「万一其節不得心之義申聞、不参等有之候ては不相済候間」とその徹底を図っている。そこには、農村労働者を確保し、税収入を減らすまいとする藩主の意図も垣間見ることが出来る。

問合せ先

歴史民俗資料館
☎ 82-8544



夏の恒例行事である、ふるさとまつりが、8月23日、町総合公園陸上競技場において開催されました。

かんびよう踊りでは、自治会をはじめ、多くの団体が参加し、たくさんさんの踊り手が檣を中心に輪を作りました。

夏の夜空を彩り続けて25年

ふるさとまつり開催



花火大会では、お祝いや記念の言葉を花火とともに贈る「記念花火」、会場に来られない壬生町ゆかりの方からの言葉を届ける「ふるさと花火」、プログラムの最後には、AquaTimezの「虹」に合わせて色とりどりの花火が打ち上げられました。

また、まつりの翌日に行われたごみ拾いには、今年も一般の方から協力をいただき、多くの方に参加していただきました。

ヒラリー・ハーン
ヴァイオリンリサイタル

2009年1月17日(土) 18:30~
全指定席 / 4,000円
10月3日(水) 入場券発売

光輝く妙技、冴え渡る音色。
世界を魅了する華麗なる
女流ヴァイオリニスト



■会場：壬生中央公民館大ホール(城址公園ホール)
※入場券は、壬生中央公民館、稲葉・南犬飼出張所、町施設振興公社で取り扱いします。
■問合せ先：壬生中央公民館 ☎82-0108



工作「えものをくわえたわし」

壬生北小 5年
渡邊 皓大

寄付

◆社会福祉協議会へ (○数字は寄付回数)

- 匿名① 1千円
- 日歌研師範連盟栃木支部様① 4万6千674円
- 日師連栃木県支部南部地区様⑤ 4万912円
- 連合栃木下都賀地域協議会様② 2万2千円
- 栃木県歌謡協会下都賀支部様②⑩ 5万円

私の作品



壬生北小 2年
廣澤 李花



絵画「いろいろ天気」

まちのうごき

9月1日現在

総人口 39,905 人 (46)
男 19,579 人 (30)
女 20,326 人 (16)
世帯数 14,098 世帯 (43)
()内は前月比

●町県民税 (3期)
●国民健康保険税 (4期)
●介護保険料 (4期)
●後期高齢者医療保険料 (4期)

納期限 10月31日

10月の納税等